モニタリング事前意識調査の結果について

○実施の目的

市民のしあわせ実感モニタリングの実施に先立ち、モニタリングへの参加意向を把握するとともに、モニタリング当日に話しあうテーマを検討するため、本調査を実施した。

また、普段ワークショップ等への参加が難しい市民を含め、幅広く市民の声を収集することに加え、市民参加型合意形成プラットフォーム「ふらっと＊たんば」の他者の投稿に意見を寄せることができる機能を活用し、オンライン上で市民同士が意見を交わしていただくことにより、市民のしあわせ実感調査（アンケート）結果の背景や要因を深掘りすることを目的としている。

○調査の概要

調査期間：令和８年６月25日（木）～令和８年７月10日（金）まで
調査内容：①Well-Being指標の24分野（因子）のうち、自身が関心のあるものは何ですか。
②あなたや周りの人が『暮らしのなかでしあわせを実感できるようにするために、市や地域であったらいいな』と思うことや取組は何ですか。
調査対象：住民基本台帳から無作為で抽出した1,500人（高校生以上）
調査結果：89件（複数投稿可）

○「ふらっと＊たんば」で集めた市民の声

No.	①	②
1	移動・交通、事故・犯罪、自然災害	・車を運転していると市内の道路線が薄くなっていたり、消えかけている所が多くあります。運転をする際に、はみ出しによる事故等の危険があるため、道路線の引き直しにより、安全・安心に運転ができるようにして欲しいです。 ・日ごろの雨などで山から川へ土砂が流れ込み、川底が少しずつあがっているところがあります。少しの雨でも川の水位が上がるため、大雨などの際に氾濫する恐れがあるため、安心して暮らせるよう川底の土砂を撤去して欲しいです。安心して暮らせるまちづくりを期待しています。
2	地域行政	・地域防災の要である消防団等に頑張ってもらっていますが、最近の丹波市の若者の状況からすると、消防団への参加は半強制的になっているように感じることがあります。 ・地域の防災力を一定程度担保するためには、現状の消防団員の構成では難しくなってきているのを感じます。話聞くと、消防団が地域を巡回することは問題が無いようですが、消防署の人たちが巡回すると苦情等が寄せられることもあるようです。 ・市が地域のために活動していることを市民が実感できる行政運営を希望します。
3	自然景観、子育て、自然の恵み、地域とのつながり、遊び・娯楽	・災害時に地域で助け合える仕組みづくりや防災訓練を充実させて欲しいです。また、普段から顔の見える関係があることで、安心して暮らせる地域ができていくと思います。 ・自然に親しめる公園やキャンプでのイベントを充実させ、家族や友人と気軽に楽しめる機会を増やして欲しいです。地域の魅力を感じることが、暮らしの幸せにつながると思います。
4	自然景観	・竹藪が繁茂して、個人で対処するのが難しい。野生動物のすみかにもなるので、竹チップを作る機械を丹波篠山市のように貸し出して欲しい。
5	自然景観、自然の恵み、地域とのつながり、雇用・所得、移動・交通	・若い世代が進学などで市外へ出ても帰ってこれるよう、働く場所を確保して欲しいです。また、移動手段としてバスが基本になると思いますが、本数や路線の改善により、移動がしやすく、住みやすいまちにして欲しいです。 ・丹波市にはたくさんの農地がありますが、高齢化が進み、少しずつ作られていない農地もみられるようになりました。農産物や景観を守るためにも、若い方が農業に興味をもってもらえるような取組をして欲しいです。 ・丹波市は、自然豊かで美しい場所も多いため、もっと情報発信をして欲しいです。 ・高齢者が歩いて参加でき、声をかけあえる関係を構築できる交流場所を作って欲しいです。
6	地域とのつながり、健康状態、自然災害	・みんながしあわせを実感するには、問題が多々ありますが、丹波市としてめざす姿を何に置いているのか、めざす姿勢がはっきりしているのであれば、一つ一つ実践してクリアしていく以外に道はありません。しあわせは後からついてくるものだと思っているので、私個人としては自分自身で一日を迎えられ、大きな災害なり、病気をする事がなく、家族や周りの人たちと共に日々暮らしていられる事が幸せと実感しております。

No.	①	②
7	自然災害、住宅環境	・テーマである「しあわせ実感」は千差万別で流動的であるため、皆が満足できる丹波市をめざすことは、とてもハードルが高いと思います。その中で私は、市や自治会としてできることとして、安心・安全な町づくりが最も必要なことだと思います。 ・過疎という名のもとに将来消える市として名前があがって以来、周辺の変化に伴い市も変わりつつありますが、他市と比較すると何が違うのかと思うことがあります。変化する事はもちろん大切ですが、何もかも揃う事を良しとするのではなく、今あるものの保全と突発的な事が起こったとしても、自力で立ち上がれる基盤を作っていくことが大切だと思います。
8	移動・交通	・高校へ通うのにも、青垣地域にバス停がない地区があるので、歩いて行ける範囲でバス停があったらいいと思う。また、バス通学の補助金はあるが、無料化にして欲しい。
9	雇用・所得、地域行政、移動・交通	・運転免許を返納した後の移動の不自由さを解消して欲しい。公共交通機関の利用促進については理解するが、自家用車移動に慣れている多くの丹波市民にとって、今のデマンドタクシーの運行方法は不便と感じてしまうので、一考が必要。 ・若年層の定住促進について、丹波市内に働きたい場所を創出できないなら、近隣の市町（三田、福知山）で働き、丹波に住むという方法をアピールするなど、定住につながりそうな方法を広い視野で検討してはどうか。
10	初等・中等教育、自己効力感	・公助を求めるのではなく、人から感謝され、自分も何かの役にたっているんだと思う時が幸せなのではないでしょうか。世の中には、人知れず社会の片隅で役に立っている人がたくさんいらっしゃいます。今一度こういったことが感じられるようなことを教育の現場にも取り入れ、人材育成に取り組んでいただきたいです。市に何かあったらなぁと思う次第です。
11	地域とのつながり、公共空間、地域行政	・私は80歳の男性です。近年少子化が進み、年配の者が現役で出役しないと自治会などの共同作業ができません。体力的な負担があり、つらいです。 ・若い人が地元で暮らせるまちになることが大事です。また、安心して老後が暮らせることも大事と感じています。気の合うもの同士が集まって、自由に使える場所があればと思います。いくら公のコミュニケーションの場を設けても人は集まりません。自分に合った好きなことを見つけて楽しめるよう、自立心を持つことが大事と考えます。
12	多様性と寛容性	・丹波市出身で丹波市から出ずに地元に残る人に特有なのか「丹波市は何もない。丹波なんて。」という言葉をよく聞く。他の都市を知らないため、ある種仕方がない意見だとは思うが、どうにか卑下することをやめるような取組をして欲しいと思う。同市は地方都市の中でも恵まれている環境であると感じる。今ある自由や機会に目を向けることができるような取組をして欲しい。
13	雇用・所得	・柏高出身でUターンの私の立場から同市を見るに、同市に帰りたくないわけではないが、進学後に同市に就職したいと感じる職先がないことがネックで移住しきれない人が一定数いると思う。ここは調査して欲しい。そして地方都市としてできることは、何かしらの連絡網を構築しておき、丹波市出身者の就職先業種を把握し、同市で必要なスキルやポジションがあれば招待を送ること、逆に企業としてこのようなポジションを求めているという情報をその能力を持つ人にあっせんするなど、卒業後まで行われる手厚いサポートだと思う。同市に住んで良かったと思える方は、都会に出たことがある人に多いと思う。
14	雇用・所得、教育機会の豊かさ、事業創造	・しあわせを実感するとは、その人が自分らしい暮らしを送り、人とのつながりや挑戦、安心できる生活などを通じて、自分の生活を肯定的に評価できる状態であると仮定する。同市では業種に偏りがあると感じる。大学進学後に就職しようと思える職は同市に少なく、柏校生は就職で市に戻る確率が引くい。職を誘致するためには人材が必要になるが、人材は流出後に帰って来ない。流出した人材が同市に戻り、自分らしい暮らしを送れる環境を整備するために、例えば福知山公立大学と提携し、丹波キャンパスの創設を目指すのはどうか。学生が一定数居る事を示すことができれば、誘致の一手になる。
15	雇用・所得、教育機会の豊かさ	・しあわせを実感するとは、その人が自分らしい暮らしを送り、人とのつながりや挑戦、安心できる生活などを通じて、自分の生活を肯定的に評価できる状態であると仮定する。丹波市では工場、福祉サービス等の業種が多く、業種に偏りがあると感じる。大学進学後に就職しようと思える職は同市に少なく、柏校生は就職で同市に戻る確率が低い。市を盛り上げる主体は地元就職の多い氷上高校生だと思う。挑戦できる環境を整備するため、例えば氷上高校でアントレプレナー(起業家)コースを創設するのはどうか。私は柏高出身だが、市への貢献度合いを考えると氷上高生にお金を使い育成するのも一つと考える。

No.	①	②
16	自然景観、自然の恵み、環境共生	・しあわせを実感するとは、その人が自分らしい暮らしを送り、人とのつながりや挑戦、安心できる生活などを通じて、自分の生活を肯定的に評価できる状態であると仮定する。近年では物価高から自分で野菜を栽培したいと思う人も多い。しかし、丹波市では耕作放棄地はあるものの、耕作ニーズのある新興住宅街の方々には、土地を持てる機会が少ないと感じる。挑戦できるという環境を整備するために、例えば、市内に住む人に対して無償で耕作放棄地のマッチングを行うのはどうか。道具類は市施設に保管しておき、自由に使える等を検討する。ここに住んでいてよかったと思えることが幸せを感じる要素と思う。
17	地域とのつながり、遊び・娯楽、教育機会の豊かさ	・しあわせを実感するとは、その人が自分らしい暮らしを送り、人とのつながりや挑戦、安心できる生活などを通じて、自分の生活を肯定的に評価できる状態であると仮定する。自分の役割を持ちたい。何かの役に立ちたいと漠然と考える人はいると思う。人とのつながりや自分の役割、目的のある生活のために、例えば、市民発のイベントが多いという特徴を活用し、市内でボランティアや各種活動の情報発信や困っている事、助けて欲しい事、教えて欲しい事、教えたい事、手伝ってもらいたい事などを発信できるブース（展示）など、つながるきっかけがあれば、誰かのために「何かしたい、役に立ちたい。」につながるのではないか。
18	地域行政	・丹波市に嫁いで半年で、ストレスから病気を発症しました。ストレスの原因の１つは自治会です。現在ではなくなった地域もある婦人会が、私が暮らす所では強制で辛いです。仕事の休みの日は、自分や家族の為に過ごしたいです。たまの草刈りや掃除なら良いですが、行事が多すぎます。自治会を抜けたいと伝えましたが、抜けられないと言われました。ゴミ捨ての問題もあります。自治会を脱会できたとしても、ゴミ捨て場に捨てられなくなるのではないかと言う不安もあります。あったらいいなと思うものは強制ではなく任意です。
19	医療・福祉	・個人の幸福は、「個人の努力」だけで決まるものではなく、行政が「安心の土台」を、地域が「つながりと居場所」を、両者が協力して「自分らしく生きられる環境」を整えることで、はじめて多くの人が実感できるようになるのではないか。 ・丹波市は、例えば市長への意見箱など、行政ニーズを汲み取る広聴制度が乏しく、議会も市民ニーズを把握していない。しあわせ実感アンケート調査は、市民の実感がよく表れており、広聴機能を強化して各項目の満足度向上を図って欲しい。 ・「生き生き100歳体操」は、介護予防や地域のつながり強化の観点からも、各地域で進められるよう市が積極的に進めて欲しい。
20	地域行政、自然災害	・松森川上流は河川改修されていないため、台風や豪雨時は不安で夜も寝れない。早急に河川改修して欲しい。また、土地改良区の井堰が設置から40年経過し、更新時期になっているが、地元負担が多く更新出来ない。組合員さんからは、お金を払わなければいけないのであれば、お米作りをやめますと言われます。地元負担なしか、５％の負担で工事が出来るような制度にして欲しい。
21	地域行政、買物・飲食、移動・交通	・丹波市は単に広いだけ。日々の買い物や通院ひとつとっても重労働だ。丹の里のまちづくり計画はどうなっているのか？中心部に位置づけされている地域は、まだ利便性も向上しているようにも感じる所もあるが(決して充分ではないが)、そうでない地域は皆無。自然や文化とかいわれてもな…。年寄りには何の事やら。イベント等があっても会場へ行く足は？子ども達に積極的に地域の魅力を発信出来ているの？丹波市内の特産品やお菓子等の移動販売に来て欲しい。企業や個人任せではなく、市も支援し、またその思いに市民も答え、支えていける息の長い施策を希望します。
22	子育て、文化・芸術、公共空間、移動・交通	・丹波市を離れ、大学進学後に10年都会で働き、家族を連れてUターンした身として、同市はとても住み心地がいいです。都会に住んでいた頃と比較して、自由や幸せを感じます。交通では、道が混みすぎず、出かけたいときにすぐに行くことができます。インフラに応じた人口と利用者がいる印象です。住環境では、甲賀山など熊の心配もない自然があり、自然を活用できる機会が多く、市民主催のイベントが盛んで、週末ごとに、都会より気軽にイベントに参加できます。文化面では地方都市で美術館があることも珍しく、博物館や図書館などの施設は分散していますが、定期的に芸術・文化・歴史に触れることができます。
23	環境共生	・大河ドラマで来る人が増えた黒井城のように、ウォーキングやハイキングのできる高見城山、権現山（氷上町谷村）、柏原と篠山の境の金山城など、半日足らずで楽しめる山の手入れが次第に行き届かなくなりつつある。新たに何かを作らなくても、かつて登山者や利用者（小学生や中学生も含めて）が多かった歴史とともに語れる山とその麓の神社や寺、飲食店を紹介して、山が荒れる前に「熊のいないハイキングコース」として整備し、皆で利用できたらいいなと思う。人命に危険な熊や農作物に被害の出る鹿、猪など、丹波市はまだ管理できている方だと思うが、狩猟できる人材も必要と思う。

No.	①	②
24	自己効力感、自然の恵み、遊び・娯楽	・丹波の自然を活かした公園造り(大型遊具は要らない)。サイクリングコースや花のある遊歩道に、小動物たちともふれあい体験ができる森やビオトープなど、老若男女や障害があっても利用できる見通しの良い公園で、子どもたちの声を聞きながら、木陰で読書して一日を過ごしたいなと思うこの頃です。(そうなると管理の問題も出てくるでしょうね。) ・市民プール(青垣、春日)の老朽化が心配です。夏休みの癒しだったり、シニアやベビーの健康維持のためにも、安全な施設運営への補助を願いたいものです。
25	地域とのつながり、買物・飲食、移動・交通	・高齢者になってきて思う事は、買物や通院にデマンドが全町的に使用出来ると便利だと思います。 ・一人暮らしの高齢者の心の悩み、たとえば世間話を通じて困り事等が気軽に相談出来る所があればいいと思います。 ・車椅子マークのある駐車場を使用したい時に、健常者の方が使用されている場合が多いので、思いやりのある社会になって欲しいと思います。
26	買物・飲食	・有名な店がもっと丹波市に出店してくれれば、活性化されるかと思います。以前、おば里にスターバックスが出来る話を聞いた事がありますが、どうなったのでしょうか？市長が変わって無くなったのでしょうか？ユニクロが無くなったのもマイナスかと。丹波市として支援が出来なかったのでしょうか？もっと色んな店が出来て魅力ある丹波市にして欲しいです。
27	医療・福祉、子育て	・病児保育園を設置して欲しい。２時間でも、３時間でも診ていただけると助かることが多々あると思う。女性が働きやすい、子どもを産みたいと思う環境をもっと考えて整えて欲しい。
28	地域とのつながり、雇用・所得、事業創造	・田んぼを見ていると、きちんと管理されている所と、そうでない所があるように感じます。さまざまな事情があるとは思いますが、地域で草刈り機などの農業機械を貸し出したり、シェアできる仕組みがあれば、管理の負担が少しでも軽くなり、地域全体の景観や農地の維持にもつながるのではないかと思いました。
29	買物・飲食、遊び・娯楽	・ゆめタウン以外のショッピングモール的なものがあると、経済も回ると思う。
30	子育て、地域とのつながり、買物・飲食、遊び・娯楽	・ただの休憩所ではなく、『子どもの居場所（放課後）』『シニアの生きがい（役割）』『子育て世代の息抜き』が一つになった、現代版の『大きな縁側』のような場所が町ごとにあれば、地域がつながり、子育て世代も、外に出ている若者も魅力を感じて人が増えるのではないか。 ・住民センターに、図書館や子育て支援センター、人が集まれる和室などいろいろ揃ってはいるが、なんか惜しい。外でも遊ぶ遊具があったり、日陰のあるベンチがあり、遊歩道など開放的な雰囲気の建物になると魅力を感じるのでは。また、どれだけ魅力があっても、移動の壁があれば、集まりません。
31	地域とのつながり、買物・飲食	・毎日を安心して過ごせるために、医療・買い物・交通など生活に必要なサービスを維持するとともに、子どもから高齢者まで気軽に集まれる居場所や交流の機会を増やして欲しいです。自然豊かな丹波市の魅力を守りながら、若い世代も住み続けたいと思えるまちづくりを期待します。
32	自然災害	・災害時に安心して避難できる体制が整っているといいなと思う。すでにあるのかもしれないけれど、実感値がないので、平時からしっかり広報してもらえたらと思う。
33	環境共生	・大手公園に公共トイレがなく不便である。休憩するベンチもないので設置して欲しい（法務局前）。
34	地域とのつながり、買物・飲食、遊び・娯楽、環境共生	・僕が「あったらいいな。」と思うのは、若者から年配の方まで、また、障害がある人でも障害を持っていない人でも、みんなが集まることができる環境があったらいいなと思います。 ・もっと楽しく、明るくて元気な暮らしが出来るように、いつでもどこでも無料で食べ物を食べることができるテーマパーク見たいなものがあればいいなと思います。 ・友達と共に楽しみ、夢や思い出で溢れるまちづくりを期待します。また、家族と一緒に暮らしつづけられるまちづくりが出来たらいいなと思います。
35	買物・飲食、遊び・娯楽	・カフェがあれば多くの人が集まり、友人と美味しい時間を共有して幸せを感じられると思います。
36	遊び・娯楽	・＝LOVE「イコールラブ」のグッズ売り場、＝LOVE「イコールラブ」のライブ会場が丹波市にあったらいいなと思います。ファン同士で集まれたら楽しいからです。
37	遊び・娯楽	・ゆめタウンの本屋に早くオープンして欲しい。
38	遊び・娯楽	・寝カフェが欲しい。
39	買物・飲食	・スーパーとコンビニが家の近くに欲しい。

No.	①	②
40	地域とのつながり、遊び・娯楽	・色々な人とのコミュニケーションに安心してチャレンジできるような場所が欲しい。
41	文化・芸術、地域とのつながり、健康状態、買物・飲食、遊び・娯楽	・フルーツやアイスクリーム、ソフトクリーム、唐揚げ、フライドポテト、天ぷらが食べられる店が欲しい。また、アスレチックアドベンチャーが欲しい。
42	都市景観、自然景観、自然の恵み	・綺麗な景色で、自然豊かな場所が欲しい。
43	雇用・所得、遊び・娯楽、事業創造	・ぼくがあったらいいなと思うことは、知らない人とスポーツで繋がれるところがあったいいなと思います。理由は、友達をたくさん作ると楽しいと思うからです。
44	健康状態、移動・交通	・私があったらいいなと思うことは、バスや電車の交通手段を増やして欲しいです。理由は、病院などに行きやすいし、友達や家族で気軽に出かけやすいからです。
45	遊び・娯楽	・動物がいて、インスタ映えするカフェが近くにあって欲しいです。
46	買物・飲食、遊び・娯楽、住宅環境	・家の近くにいろいろなお店が入っている商業施設があったらいいなって思いました。
47	移動・交通	・見にくい道にミラーをつけて欲しい。
48	買物・飲食、遊び・娯楽	・サーティワンとスタバが遠くにしかないから、近くに欲しい。
49	遊び・娯楽	・ポケモン公園があったらいいです。理由は自然がいい環境をつくるためです。人気間違いなしです。
50	デジタル生活	・おじいさんやおばあさんと簡単なゲームを通じて、仲良くしたいです。理由は孤独を減らしてあげたいのと、私達といることで安心して欲しいからです。
51	移動・交通	・電車やバスを使いやすくして欲しいです。そう思った理由は、家の近くに電車やバスが出てないからです。
52	都市景観、医療・福祉、デジタル生活、自己効力感、文化・芸術、地域とのつながり、雇用・所得、健康状態、地域行政、買物・飲食、移動・交通、事故・犯罪、遊び・娯楽、教育機会の豊かさ、住宅環境	・人と繋がれる場所が欲しいです。
53	医療・福祉、公共空間、雇用・所得、健康状態、地域行政、買物・飲食、移動・交通	・地域の中でも差が大きいと思いますが、少子化により保育園や小学校の統廃合、繰り返される役員負担、成り手不足によりいつまでも辞めれない消防団、地域のことは地域でという行政の丸投げ、このような状況と市が示す丹波市の魅力には大きなギャップがあります。それを理解しておきながら、実際の部分は伏せているように感じています。市長が掲げる「帰ってこいよ政策」とは程遠いと思います。親として子供たちの幸せを考えるなら、私たちと同じ様な役をさせるために、丹波市に住み続けて欲しいとは言えません。都会の方が思い描くような、のんびり田舎暮らしが出来れば幸せと感じれるかもですが…。
54	医療・福祉	・高齢化が急速に進む中、個人医院が減少していると感じる。また、老人介護施設は非常に不足していて、順番待ちが多くなっていると聞きます。介護の問題を早急に考えていただきたいです。
55	都市景観、公共空間、移動・交通、事故・犯罪	・至る所のアスファルトが割れていたり凹んでいたりして、路面状況が非常に悪いので修復工事をお願いしたい。 ・まだまだ知らない飲食店等が多いので、おばあちゃんの里など、人の集まる場所を活用して地域活性化を狙ったイベントなどを開催して欲しい。
56	多様性と寛容性	・生活環境が多様化する現在において、自治会等の加入が問われています。弁護士みたいな、市民の側に立って助言をしてくださる課があってもいいのではないですか?

No.	①	②
57	医療・福祉	・体を動かし健康を保つには、大阪大東市による（「大東元気がでまっせ体操」CDあり）テレビ画像に合わせて運動するような、ゆっくりで、無理なく挑戦しやすい良い取組を期待します。
58	多様性と寛容性、子育て	・子育てに丹波市は向いてないと感じる。明石市のように子育てに特化した地域にしていくともっと活性化していくんじゃないかなと思う。
59	教育機会の豊かさ	・定員割れの公立高校に何を期待するんですか？オンラインでもいいので、学びの機会を作るコンテンツを提供する気があるならよいが、有料の民間任せで自治体が何をしてくれるんですか？金持ちだけが残っても金持ちの中で格差が生じていくだけですよ。また、教育など学びの場を設けても、それを活かす場がなければ市民レベルでの幸せにはつながりません。市単位とか県単位とか狭いこと言っても綱引きになるだけやと思います。東京が財政が豊かで人口が集中することが象徴していますよ。
60	文化・芸術	・旧町域に立派な施設があるが、有効利用されているように感じない。稼働率はどのくらいか？文化や芸術に触れると言っても、オープンにされているイベントが何なのかすら分からないし、結局都会にでないと何にも得られない。地元の建築業や管理会社に仕事を与えて満足しているだけではないか？美術館も何か分からない展示がされているだけで、箱があるから続けているだけではないか？常設展示で人が呼べず、休館にするくらいなら、企画展を別会場で行った方がよいのではないか？どのくらいのランニングコストがかかっていて、何人来館していて、収支が取れているのか、民間なら厳しく問われるところです。
61	雇用・所得	・報道や広報の情報から、公務員の給与と中小零細企業の給与がかけ離れている。こういうこと言っても議題にはしないでしょうが、自治会に補助金を渡して丸投げしていることが多く、結局自治会費や協議費の負担が多い。都会から移住してきた方の意見やネットへの投稿でも明らかです。自治振興会なる箱物を作って移譲し、自治会からの上納金を吸い上げていることも負担金の高騰になっている。大半の人が自治会の公民館や集会場で十分と感じているはず。体育館の新設もされたが、学校施設を使えば十分ではないか。その方が世代間のつながりができるようにも思う。何をしたって人口減少は避けられない。
62	多様性と寛容性、自然景観、文化・芸術、自然の恵み、地域とのつながり、雇用・所得、健康状態、教育機会の豊かさ、環境共生、住宅環境	・個々の村や地域では、昔からの伝統のあるお祭りがありますが、丹波市として、市民全体が取り組めるお祭りがあれば良いなと思います。
63	医療・福祉、公共空間、健康状態	・市内の公共施設や近所の公民館など、既に設置させれているところもあるが、自由に血圧測定ができる機械をすべての施設に設置して欲しい。高齢になってから高血圧であたふたする人が多いと感じる。血圧測定器を多くのところに設置することで、目の触れる機会を増やし、若いうちから関心を持てるような環境づくりが必要と思う。
64	医療・福祉、買物・飲食、移動・交通	・高齢の両親と同居しているが、食事を用意するのが大変。一人暮らしの高齢の方となるともっと大変と思う。近くに軽食が食べられるカフェやそういったサービスを提供してくれるところが増えたらうれしい。
65	買物・飲食	・買い物が福知山か氷上まで行かなくてはならず、不便です。
66	移動・交通、事故・犯罪、住宅環境	・日常のなかで安心して暮らせる「安全な環境」こそが、しあわせの土台だと考えます。現在のゴミ集積所は、見通しの悪い道路（車がスピードをよく出す道）のカーブに設置されており、高齢者はもちろん、若い人が利用するにも非常に危険で、日々命の危険を感じています。住民が毎日のゴミ捨てを安全に行えるよう、「見通しの良い直線道路への場所の変更」や、「集積所の数を増やして1カ所あたりのリスクを分散する」といった具体的な安全対策・改善を強く求めます。綺麗でおしゃれな取組よりも、こういった「いまそこにある命の危険」を解消することこそが、行政が最優先でやるべき仕事です。
67	多様性と寛容性、医療・福祉、子育て、自然の恵み、健康状態、買物・飲食、移動・交通、教育機会の豊かさ、自然災害	・見下す人を作らない。見下すと決めた人を多数で共有し、認識しない。自分の行動を他人に依存しない。このような自分の行動を客観視出来る教育を大人も子どもも受けられる取組をお願いしたい。

No.	①	②
68	医療・福祉	・父の介護しています。ケアマネさんが寄り添ってくれて感謝してます。父はデイサービスや通所リハビリなどに通うことをいやがり、あまり外にでません。そういう方達はたくさんいると思うのですが、なにか人との交流ができて(少人数で)定期じゃなくて、軽い気持ちで行けるようなことがあればなぁ…と思ってしまいます。知らないだけであるのかもしれませんが、情報が欲しいです。なんとか重い腰を上げてくれればいいのになぁと思います。
69	移動・交通	・月に何度か別居の祖母を買い物や病院に車で連れて行っています。祖母は歩行などは問題なくできるので、デマンドタクシーが別の町を跨いで乗り降りできれば、一人でも行けていいのだけれどとよく話しています。
70	子育て、雇用・所得	・自身は丹波に生まれて今も生活していますが、同級生の多くは地元を離れています。今の環境で育ってきたため、現状の生活や子育ての環境に不満はありませんが、少子化が進み、小学校も統合されていく中で、この先この地域がどのようにあり続けられるのかが不安です。雇用があれば、人口流出がおきないのかは分かりませんが、丹波に戻ってきて生活がしたいと思える魅力のある場所であって欲しいと思います。
71	医療・福祉	・気軽に通える婦人科がありません。整形外科も近くのところは予約が必須で、電話をかけてから数日後にしか見られないとのことで、急な怪我の時は本当に困りました。医療センターは、診てくれるまでのハードルが高いです。（待ち時間や初診料など）車がない人への市内の離れたクリニックへの送迎のシステムがあればうれしいです。
72	医療・福祉、地域行政、移動・交通	・子育て世帯には、補助金や助成金等が多いように感じます。確かに必要だとは思いますが、不妊治療の助成金や補助金も強化して欲しいです。
73	多様性と寛容性、医療・福祉、子育て、地域とのつながり、地域行政	・昨年に流産を経験した際の話ですが、土曜日の夜でかかりつけ医が時間外だったため、近隣のクリニックや医療機関に相談しましたが、「他院の患者であること」や「情報がないこと」を理由に受け入れてもらえず、とても不安な思いをしました。妊娠中の急な体調変化や流産時など、緊急時には、かかりつけ医以外でも必要な診療を受けられる体制や、医療機関同士が連携できる仕組みを整えて欲しいです。妊産婦の救急受入れや地域医療の連携不足は、全国的な課題でもあり、丹波市からこうした仕組みづくりを進め、安心して子どもを産み育てられる地域のモデルとなって欲しいと思います。
74	住宅環境	・丹波市に転居して感じたのは、ゴミ捨ての不便さです。分別が細かい上に、缶やペットボトルが月1回しか回収されないなど、便利とは言えません。また、粗大ゴミを出そうとしたときに、市に相談すると回収範囲外ということでした。自分で持っていくにも車に乗らないサイズだったため、結局廃品回収業者に依頼することになり、安くない料金がかかりました。もう少し分別を簡易にするか、それぞれの回収頻度が増えればよいと思います。粗大ゴミも回収してくれる体制があれば良いです。
75	医療・福祉	・私は母の健康問題で帰郷しました。丹波医療センターがなかった頃ですが、当時は専門医が都会にしかなく、通院や入院の世話が必要になったためです。新しい病院が出来てからも変わらないように思います。治さない選択肢も年齢によってはありますが、働き盛りにブランクが生じる可能性は、なくしておかなくてはいけないように感じます。普通に暮らせなければ、幸せは実感できないように思います。比較的長期の世話とならず亡くなりましたが、かえって不健康で長生きしなかったことが家族思いになったとも不謹慎ながら感じます。田舎の暮らしを求めて移住された方もいますが、病をきっかけに戻られるのが現実です。
76	買物・飲食、移動・交通	・普段は自家用車を使用していますが、バスを利用する機会があり、時刻表を見た時に本数やルートの種類がとても少なく感じました。今後、免許返納する方が増えてくると思うので、増便等を行ったほうが良いのではないかと思います。また、近所に週一で昼食を提供している場所があり、地域住民が集まれる貴重な場所かと思います。こういった場所への手厚い補助金等があれば活発化して人がもっと集まるのではないでしょうか。
77	地域とのつながり、買物・飲食	・市内でショッピングしようと考えた場合、候補が1つ2つしかないので、結局市外に流れてしまうため、もっと増えたらいいと思う。若い人が都会に行く要因になっていると思う。
78	医療・福祉、地域とのつながり、健康状態	・すぐに行ける医療機関がない。また、近くに食料が買えるような店がない！大変不便です！

No.	①	②
79	移動・交通	・国道176号と175号が交わり、高速もある地域で、下道で舞鶴に向かうこともできるので気に入っています。交通網が良くなりすぎて素通りしてしまう人が増えないようにしつつ、多くの方に足を止めていただける憩いの場になれたら嬉しいです。 ・ドローン拠点として、阪神間と但馬あたりが予定地・候補地になっていたように思うのですが、ドローンの中継地にも、物流の中継地にもなれたら、将来的に良くなれるように思います。
80	公共空間、地域行政	・そもそも、丹波市役所職員の方は幸せなのでしょうか？役場に行っても、課により挨拶もない時があります。雰囲気も暗く、楽しい職場には見えません。市民のしあわせもよいですが、まずは足元から改善されてはいかがでしょうか。また、今回の調査により様々なサービスを検討されると思いますが、サービス提供だけが手ではないはずです。市民自らが問題を解決ができるようなサポートをすべきであると考えます。サービス提供により市民がお客になり、要求が過剰化されることが予見されます。ただ単純にサービスを拡充するだけでなく、持続可能な社会となるよう進めていただきたいです。
81	多様性と寛容性、医療・福祉、文化・芸術、移動・交通、遊び・娯楽	・圧倒的に病院の数が足りていない。セカンドオピニオンを受けるにも、都会にいくしかないし、家族がいない年配者にはその選択肢もない。年配者、片親には手厚い補助金があるが、子育て世代（1番お金がかかり必要な時期）にはあまりない。今の日本を支えているのは30代から50代だ。もっと子育て世代にも補助金を設けて欲しい。 ・丹波市にも西脇のミライエみたいな施設を作って欲しい。
82	移動・交通	・学生のみならず一般の方のバス利用料金を丹波篠山市のように、市内だったらどこで降りようが、ニコパだったら200円にならないのでしょうか？勿論、障害者の方は、100円など。この物価高や1番お金がかかる時期について、なんとかなりませんか？特に、氷上西高校に通う子供達、青垣から他の高校に通う子供達のために。
83	医療・福祉、環境共生	・山林や田畑の持ち主が高齢化し、管理できていないところが散見される中、買主も借主もなく、色々な規制のある中で、個人ではどうしようもない状態が続いています。これは土地所有者だけの問題でなく、市内の景観や山林からの災害も含めて、市民全体の問題にもなっています。田畑の借主への手厚い補助金、災害危険区域周辺の山林の持ち主への補助金付樹木伐採指導など、対応していただけることがあればいいなと思います。 ・各医療の専門医がおられる近隣の（他府県市可）医院や病院を紹介した内容の冊子を出して欲しいです。（医療が必要な場合の選択肢として）ホームページでの掲載も歓迎です。
84	子育て、教育機会の豊かさ、自然災害、住宅環境	・家が古く、大きな地震がきたら倒壊するのではないかと心配している。収入に余裕がなく耐震工事等も出来ずにいる。市から補助があれば良いと思います。 ・山南地域にはプールがないので、スイミングスクールが出来るようなプールを作ってもらえると、山南中学校のプール授業や地域の子どもの習い事として利用でき、良いと思います。和田中学校跡地には無理ですか？ ・久下小学校からアフタースクールまでの距離がわりとあるので、学校横にアフタースクールが作られるとベストだと思います。
85	都市景観、移動・交通	・買い物や仕事帰りの際に視界が悪く不便なので、田畑の近くの道や車の通行量が多い道の暗い場所に街灯を設置して欲しい。
86	都市景観、自然景観	・管理が行き届いていない空き家が複数戸あるので、小中学生が登下校のときに通る道の周辺だけでも整備して欲しい。
87	買物・飲食、移動・交通	・足が不自由な人や時間がない人のために、代わりに買い物をしてくれるサービスがあるといいと思う。もし既にそのサービスやほかの便利な情報があるなら、周知に力を入れて欲しい。
88	地域とのつながり、公共空間、教育機会の豊かさ	・放課後や休日に家以外の場所で勉強しようと考えたときの候補が図書館くらいしかないので、学校近くの空き家などを利用するなどして、自習や交流ができる空間を作って欲しい。
89	買物・飲食、遊び・娯楽	・友人達とどこかに出かけてショッピングしようと考えた場合、市内だと候補が1つ2つしかないので、中高生が遊んだり、デートに行けるような店やカフェが増えてくれたらと思う。

※誤字・脱字等は、意見の内容が変わらない範囲で修正しています。